

電話(口頭)受理事件処理簿

施設長	事務長	管理者	センター長	計画相談責任者	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員

受理日時	平成 28 年 7 月 8 日 (金)		午前・午後 14 時 30 分
送話者	障がい福祉課 佐藤主査、熊谷さん来所	受話者	

処理事項

以下、佐藤主査より。

詳細は全く不明。

恵庭市内のとある農場で障がい者が3名住み込みで働いているのだが閉鎖するかもしれないという話がある。実際に閉鎖するのかどうかはまだ全く分からない状況なので確認中なのだが、もし閉鎖となればその3名の障がい者の住むところまで無くなってしまうので、そうなるとスピード感が求められる。

具体的には住むところを探さなければいけないので、恵庭市内のグループホームの空き状況とショートステイの空き状況についての調べが必要となる。その空き状況の調べをお願いしたいと思っているが、そういう状況になった時にすぐ対応してもらえるように事前に今日情報を伝えに来たとのこと。その時になって突然ということではなく、今日、事前に伝えたので、その時はよろしくお願ひしたい、とのことである。

どういふ方なのか、そもそもどれくらいの支援が必要な方々なのか、といった情報も一切ない状況。

障がい福祉課としては、そういったことは後で検討することであって、まずはそこで住めなくなった時にどうするのかということが優先事項という押さえであり、空き状況等の情報をまずは押さえたい、支援のことはそのあとといったスタンスの様子。

このため、こちらからは、本当に空き状況だけでよいのか確認。空きだけを確認するなら手分けをすればそれほど手間なことではないが、空きを聞いたらずどういふ方を聞かれることを伝えるが、前記、閉鎖ということの確認が取れたら、取り急ぎ空き状況を調べて欲しい、というスタンスは変わらず。

このため、空き状況の確認だけということであればよいが、我々としては、その方たちがどういふ方なのか、どういった支援が必要になるのか、それに対してどういった協力体制を取れるのかを知りたいことを伝える。状況が分かったら情報はいただける、とのことであったが、そういったことは後でよいので、あくまでも、障がい福祉課が依頼したら早急に空き状況だけを確認して欲しい、というスタンス。

了解しかねる内容ではあったが、本当に空き状況の確認だけ行い、その方たちの支援のことについてはその後に検討していくということでのよいのかを確認。それで良いというだったので、詳細は良くわからないが協力することについては了解した。

17:35-17:37 障がい福祉課 佐藤主査より来電 対応記録簿

相談員宛てに、席を空けている旨を伝え、代わりに伺う。土日を除いて電話してほしいことと思、とのこと。「今日相談していた件で、あいかい相談すると思う」といふが、そのことを相談員に伝えたら良いかと聞くと、「緊急で何かする案件ではない」といふことを伝えておいてほしいとのこと。相談員に伝える。

電話(口頭)受理事件処理簿

施設長	事務長	管理者	センター長	計画相談責任者	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員

受理日時	平成 28 年 12 月 21 日(水)		午前・午後 14 時 40 分
送話者	障がい福祉課佐藤主査	受話者	

処 理 事 項
<p>佐藤主査来所。7月8日に話のあった農家に住み込みで働く障がいのある方達の閉鎖となった場合の居住場所等について(前回の口頭受理を添付します)。</p> <p>まだ話は具体化してなく、農場が閉鎖するかどうか分からないが(経営難で閉鎖する可能性があるという段階とのこと)、明日、障がい福祉課がその農家を訪問し、今後の話をしてくる予定であるとのこと。</p> <p>具体化していないため、すぐの相談支援とはならないとのことであり、もし実際に閉鎖ということになり、次の居住場所をどうするかという話が出てきたタイミングで情報提供をするために、恵庭市および近郊(=北広島市、千歳市で良いことを確認)のグループホームの空き情報を把握しておきたいため、空き情報調べについて手伝ってもらいたいとの依頼。いつまでという期限はなく、年明けが良いとのこと。</p> <p>確認でき次第返答することとした。</p> <p>まだ閉鎖するかどうか分からず、支援が必要となるかどうか具体的ではないということで、今回も農家の状況や本人達の情報は得られず。</p> <p>※e-ふらっとで報告後、まず別件ケースで北広島市の情報収集をおこなうため、それに付随し、その情報が落ち着いた段階で千歳市の情報収集を行う方向となる。</p>

電話(口頭)受理事件処理簿

施設長	事務長	管理者	センター長	計画相談員	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員	相談員
-----	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

受理日時	平成 29 年 1 月 26 日 午前・午後 11 時 50 分	
送話者	障がい福祉課狩野主査	受話者

処 理 事 項

手帳取得のお手伝いとして総合相に連れて行ってもらえないか、とのこと。
 案件としては、7月と12月に佐藤主査から話のあった、農場で住み込みで働く障がいのある方達の件。
 以下、狩野主査から話がある。
 市と育英会で関りがあり、市では年2回、育英会の親睦会や総会のお手伝いをしてきたとのこと。その中で、■■■■牧場で障がい者3名が働いていること、農場が経営破たんを来し、昨年やめなければならないという状況が分かった。そこで本人たちの支援をするためにまず手帳を取得することとなり、取得に向けて総合相と調整を図ってきた。
 判定日が1/31(火)9:30~となっていたが、今日になって■■■■氏から用事があって当日は連れていけないという連絡が入った。
 本人達の状況としては、母屋ではなくプレハブに住まわされているなど劣悪な環境で、さらに年金などの金銭的搾取も疑われるため、市としては早めに介入していきたいと考えている。そのため、1/31の判定を予定通り進めていきたいが、市では送迎出来ない(理由を聞くと今までに連れて行ったことはなく、ようするに前例を作りたくないということのよう)ので委託先であるe-ふらっとで連れて行ってもらうことは出来ないかだろうか、とのことであった。
 まず、e-ふらっとは相談支援なくして送迎サービスをやっている訳ではないので連れていくだけということは出来ないこと、本人達の手帳取得のための相談支援という意味合いで考えたとしても、これまで佐藤主査が2度来所しているが、まだ相談段階ではないとのことで、詳しい情報提供がなかったため、e-ふらっとでは会ったこともなく、本人たちのことを知らない状況であること、さらに障がい福祉課で関りの経過がある中で、そういった対応の中、今回総合相にだけ連れていくというのはどうなのだろうか、と伝える。
 市としては、あくまでも手帳取得の支援として委託であるe-ふらっとに送迎をお願いしたいとのことである。
 改めて前記と同じ話をした上で、明日を期限としてe-ふらっと内で検討し返答することとなる。

平成29年1月27日(金)朝のミーティングにて報告。

- ・プロセスが分からず、本人達のことからも分からない。それは相談支援ではなく、その状況では連れていくのはタクシー代わりではない。
- ・3名の対応を1人では難しく、e-ふらっとの公用車では対応できない。
- ・行く方法を一緒に考えるということは出来る。
- ・事情を分かっている人がいなくてよいのか。
- ・提案として、障がい福祉課で車を出し、障がい福祉課からも行くということであれば引き継ぎなどという意味合いでもe-ふらっとから1人同行することは考えられる。

8:54~障がい福祉課狩野主査へ送電。前記について伝える。課内で検討してまた連絡することであった。

12:58～障がい福祉課狩野主査より来電。

1/31(火)は市でも連れていけない(e-ふらつとが同行したとしても)という判断となったため、
■■■■氏にも連絡を取り、次回4月の判定で行くことになった。その時は■■■■氏が連れていくとい
う判断になったとのことである。

次回まで期間が空くため、市としては2月に訪問等を行い、支援を継続して行こうと思っていると
の話であった。

もしその時に今回のように■■■■氏が連れていけないとなったら、その時はe-ふらつとで連れてい
けるかどうか、との確認あり。

前述と同じく、ただ連れていくということは難しいため、今の時点で行ける行けないという返答に
はならないこと、その時に向けて今から支援としての引き継ぎを含めて、次回に向けて一緒に
考えていくことは出来ることを伝える。

狩野主査としては、その時に行けるのか行けないのかという返答を待っていたようだが、洪々
了解いただける。

前記について、e-ふらつと内で報告。

4月まで先延ばしにしてよいのかどうか、市として現在の状況のままにしておいてよいと思っ
ているのかどうか、経過や事情が分からないため、改めて障がい福祉課へ確認することとなる。

続きは別紙へ。

平成 29 年 1 月 27 日(金)13:30～障がい福祉課狩野主査訪問

先ほど検討結果をお聞きしたが、前段の話で、劣悪な環境に住んでいるということや金銭搾取といった話も出ており、e-ふらっととしては虐待としても見過ごすことが出来ないケースであることを伝えた上で、状況と市として今回の対応で良いのかどうかを確認した。

障がい福祉課としてもこのまま放置出来ないという認識はあり、支援に積極的に関わっていかないとならないとは考えているとのことである。

対象となる方 3 名は、**■**歳の方と 50 代の方が二人。障害年金受給。それぞれ報恩学園、もなみ学園の出身で、資料もあるため、総合相からは判定を受ければほぼ手帳は交付されるという話も出ていたとのことである。**■**歳の方は 16 歳の時から現在の農場で働いており、50 代の二人は、他の農場を転々としたあと、10 数年前から現在の農場で働いているという。

これまでの経過として、障がい福祉課と育英会(千歳、恵庭)とはこれまでも繋がりがあり、総会や親睦会で関りがあった。

平成 28 年の夏頃、育英会の副会長から、会長である**■**氏の農場がつぶれたようだということ、さらにつぶれたために、**■**氏が雇用していた障がい者達に、どこにでも行っていい、好きにしていっていいと言われてしまったと本人達が泣きついてきたという話があった(どのように本人達が言ってきたのかの詳しい経緯は障がい福祉課でも分からないとのこと)。

この話を受け、虐待も視野に入れ、障がい福祉課で“裏取り”をしたところ、農場(農家と酪農)のうち酪農が破たんしていたこと、**■**氏が元市議会議員(元議長)であったことが分かり、対応に気を付けるようにと達しがあったとのことである。

このため、破たんのことまでは市長決裁を取っており、障がい福祉課だけでなく、市としてことを荒立てずに支援していくという方針が立てられたという。

その後、夏の親睦会の打ち合わせの時に、**■**氏に農場の話をもっと詳しく聞いてみたところ、酪農が破たんしたこと、冬は仕事がないという話が聞かれた。

この話を受けて、本人達の支援を開始するためにまず手帳を取得する方向となり、9～10 月頃から総合相との調整。障がい福祉課としては、手帳取得後に、成年後見制度の利用などに繋ぐということを考えていたという。

■氏の家は税の差し押さえもされており、経済的には厳しいと思われるため、年金搾取も疑われる。また、障がい福祉課から佐藤主査と熊谷さんが一度だけ訪問したことがあったが、プレハブ小屋の床の上に布団が敷いてあるなど、環境は劣悪な状況だった。

今の状況が危険であるということは市としても認識はあるようだが、緊急性や虐待としての判断はしていない。障害年金を根拠として動いていくことで検討しており、早く分離を図っていこうとしているとのことである。そのために、まず 2 月に訪問して状況を確認するとのことであった。

市としては、夏くらいには、冬場は仕事がないので必要ないといっていたのに対し、ここに来て、仕事があるからこれからも働いてもらおうかと思っているといった話をしているとのことと抱え込みをしようとしている様子もあるため、抱え込みを防ぐという意味でも慎重にすすめたい、との話があった。

これらの話を聞いた以上、やはり見過ごすわけにはいかず、虐待案件として扱わざるを得ないと伝える。

しかし、これはあくまでも市としてオープンにしている話ではないこと、e-ふらつとが虐待案件として扱うのであれば、このケースには関わってもらわず市単独で扱っていく、との話であった。了解は出来ないが、取り扱いを含めて持ち帰る旨を伝えた。

平成 29 年 1 月 30 日(月)11:50～e-ふらっと内で打ち合わせ

- ・市としては、今後やるべきことはやるとしているが、放っておいてよいのかどうか。
- ・2月に訪問するというがどうしたいのか。
- ・市として勝算はあるのか、やり方やスピード感はどうなのか。
- ・市としては、3人を救えたらゴタゴタせずに良いのではないかと考えた。しかしながら4月まで我慢させるのは乱暴。市が考えているように穏便にうまく出来るのか。
- ・道に訴えたとしても、市はやっていると返答したら同じ行政の道は市のやり方を待つ。
- ・一番は利用者。良くない状況なのか分かるが、見逃せるのか。利用者の状況について支援のルートが近いのかほど遠いのか。
- ・通告しないでやる方法として、市として協議しながらやれるのかどうか。

e-ふらっととしては、一番は利用者達の環境が気になる。しかし市としてどう動いていくのか。本人達が適切な支援を受けられるのか、不利益な状況があったらおかしい。不利益が今後どう続いていくのか。

知り得た現実の中で、この人たちをどう救えるのか。市の訪問の意図と展開について。

市は絶対に救いたいのかどうか。

訪問のこと、第三者が行くこと、同行することについて。

分離を目標に動けるのかどうか。

本人と面談し、ここで生活したいのか、それよりも暖かく過ごせるグループホームや施設で生活しなくてよいのかどうかの確認など、同行しての面談も。

市に対して、

- ・通告ということについて、e-ふらっととして考えていること(前記について)を説明。
支援というルートに乗っていくのであれば協力していく(同行など)。
もし市が協力することならやっていく。
それでも市だけでやるというなら、知り得ている以上、経過を知らせて欲しいと伝える。

前記について市と話をする方向となる。

17:19～障がい福祉課狩野主査へ送電。

話したい主旨を説明し、日程を伝える。佐藤主査、狩野主査が話をすること。2/2(木)AMで調整いただく方向となる。

17:30～障がい福祉課狩野主査より来電。

今回の件は、非公式で伝えたことなので、(e-ふらっとに対し)何も要望はしていない。そのた

め、障がい福祉課としてではなく、狩野主査が単独で話をする、とのこと。
支援としては全くこれからのこと、とのことであった。

改めて、e-ふらっととしては、非公式というのは分かっているが、話を聞いているし案件についてキャッチしているので、こちらの考えを伝えて、それを持って市としての考えを知りたいことを伝えた上で、狩野主査と話をするということについて了解した。

これを踏まえ、日程については、1月31日(火)16:00頃に障がい福祉課を訪問することとなった。

平成29年1月31日(火)16:00～障がい福祉課狩野主査訪問

対応: ■■■ 相談員、対応・記録: ■■■

非公式ということではあったが、虐待と思われる状況について知り得た以上、見逃すということとは出来ないし、通報せざるを得ないが、我々としては、一番は利用者達の環境はどうか、本人達が適切な支援を受けられるのか、不利益な状況があったらおかしいし、その不利益が今後どう続いていくのか、それに対して市としてどう動くことを考えているのか、危機感があるのかどうか、スピード感としてはどうか、といったことを知りたいと思っていることを伝える。

狩野主査からは、環境は悪いという認識や危機意識はあるし、放ってはおかない、すぐに支援と考えているが、まだその方向性が具体的ではない、とのことである。

状況が分からないため、本人達とまず話をし、これから何をやりたいと思っているか、現状をどう思っているかを聞きながら、もし搾取が疑われるならお金は■■■氏が管理するものではなく、成年後見制度など今ある制度について説明をし、少しずつ引き離すことを考えていた、とのことである。

また、本人達が外のことを知らず、これまでの環境に慣れてしまっていて、そのままここに居たいということであったとしても、■■■氏には、本人達のために環境を整えるということ、搾取しているならきちんと本人達に年金を払ってもらうということを指導していきたいとも考えているとのことである。

そういった話をしつつ、■■■氏の説得を続け、もし支援を無理に止めるのであれば■■■氏から3人を引き離して良い方に引っ張っていきたい、とのことである。

障がい福祉課としては、これは相手が元議員だからということではなく、支援は出来るし、(虐待通報により緊急に)切り離さなくても支援が出来るという考えがあったこと、また詳しい経緯は分からないものの育こ成せい会のこれまでの功績や毎年開催している懇親会などは当事者たちも楽しみにしているということもあって、虐待通報があったということで水を差したくないという思いもある、とのことであった。

2月に訪問しているが、まだ具体的なことは何も決まっていない、とのことである。

この案件の扱いについては、理解しがたいし残念ではあるが、現状への危機感があり、本人達の権利を守るということ、そのための支援ということで同じ方向性を向けるのであれば、e-ふらつとして、面談に同行して本人達への情報提示や意向の確認など協力出来るところもあることを伝える。また、本人達の環境を考えると早めに動いた方がよいと思われることも合わせて伝える。

狩野主査からは、e-ふらつから協力してもらえるかどうかも分からなかったので、協力してもらえたらお願いしたいということ、であった。

この案件に関する実動は佐藤主査であるため、佐藤主査が [redacted] 氏等と調整を行い、連絡をいただけるとのことであった。

H29. 2. 3 (金) 佐藤主査事務所。訪問10:00。2/8 (水)、2/10 (金) 現場まで。
e-ふらつ、2/5 2/8 対応可能と見込める。日替り対応。2/8 (水) にIA型(2)及びC24488。

→ 佐藤主査の報告。

2/8 (水) 10:00 現地まで訪問。

予定はなし。

9:45 ~ 3:15 時間 福祉課 訪問。同行予定。

H29. 2. 6 (A) シーティングが報告。

当日は [redacted] 相談員。2名が対応するとのこと。

手配。4/30まで。相談員が5/30まで。連絡手段は [redacted] と確認し [redacted]

e-ふらつ(2)

2/10 3/10 5/10 対応 [redacted]

対応するもの。

* H29. 2. 8 (水) 訪問。詳細は2/28。4-3の録音に付記。

フェイスシート

フリガナ 対象者氏名	性別	電話番号	生年月日
	男	携帯番号	
住所	〒 061-1411 恵庭市恵南58番地3 2階鉄骨コンクリート造		
障がいまたは疾患名	知的障がい		

家族構成	本人や家族の状況
	<p>※以下、障がい福祉課からの情報(本人了解なしのため取り扱い注/意)</p> <p>中学1年の時にもなみ学園に入園。同園内で職業訓練を1年受けたのち、千歳市のみよし牧場に就職。24年間(S54年～平成13年)同牧場にて牛の世話などのしてきたが、業務縮小により解雇。平成13年から、現在の牧場に勤めている。</p> <p>・本人用のプレハブ小屋に居住。風呂、トイレはなし。4畳半程度。掃除、洗濯は自分で行っているというが、部屋は乱雑で自分で掃除は出来ていない。</p> <p>既往、受診はなし。7年前に転倒し骨折していたが、自分から痛みを訴えられず、雇用主が歩き方を見て病院受診させた。</p> <p>・廃棄する野菜や野草などを食べることもある。</p>

* 連絡順【本人も含む】 *

①連絡先

氏名	住所	続柄()
電話番号	携帯番号	

②連絡先

氏名	住所	続柄()
電話番号	携帯番号	

* 関係機関連絡先 *

関係機関名	電話番号	担当者など	備考

* 公的支援(手帳や年金など) *

名称	内容	備考
障害年金	基礎2級	
療育手帳	申請中	

* その他(特記事項) *

相談受付票 (利用申込票)

平成 28 年 2 月 8 日 (水) 【相談時間 10 : 00 ~ : :】

対応者

対象者	氏 (<input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女 ・ 不明 ・ 機関)		生年月日
受付	<input checked="" type="radio"/> 新規・継続 No.	相談経路	<input checked="" type="radio"/> 関係機関 ・ 市の広報 ・ 知人の紹介 ・ 新聞・テレビ ・ ラジオ ・ その他 ()
相談者	氏 (関係柄 :)	ID 番号	
相談受付	① 本人 ・ ② 家族 ・ ③ 本人と家族 ・ ④ <input checked="" type="radio"/> 本人と関係者 ・ ⑤ 関係者 ・ ⑥ その他 ()		
相談方法	① <input checked="" type="radio"/> 訪問 ・ ② 来所 ・ ③ 同行 ・ ④ 電話 ・ ⑤ メール ・ ⑥ FAX ・ ⑦ 個別会議 ⑧ 関係機関 (訪問 ・ 来所 ・ 電話 ・ その他) ・ ⑨ その他 ()		

支援内容

- ① 福祉サービス (情報提供、事業者の紹介、利用申請、契約、苦情、社会資源の活用、紹介等)
- ② 障がい・病状 (障がい受容・理解、本人・家族に対する支援等) ⑥ 家族関係・人間関係等の調整
- ③ 健康・医療 (医療機関の紹介、服薬管理、生活リズムの支援等) ⑦ 家計・経済支援 (年金、手当、生活保護制度)
- ④ 不安軽減・情緒安定 (話し相手) ⑧ 生活技術 (金銭管理) ⑨ 就労支援 ⑩ 権利擁護 ⑪ 保育・教育関連 (学校等の紹介、進路等)
- ⑫ 社会参加 (コミュニケーション、外出移動、サークル活動、作品販売) ⑬ その他 (情報交換、交流、その他)

※ 〇〇 牧場のことについては、これまで障がい福祉課から詳細な情報がないまま断続的にこの件に関する話があったが、それについては別紙、口頭受理に記載している (平成28年度口頭受理ファイルにあり)。

平成29年2月8日(木)10:00~障がい福祉課・佐藤主査、熊谷さんと障がい福祉課の公用車にて 〇〇 牧場を訪問。

※内容については、別紙に続く。

平成 29 年 2 月 8 日 (木) 10:00~ 〇〇 牧場訪問 対応: 〇〇 相談員、〇〇 記録: 〇〇

障がい福祉課・佐藤主査、熊谷さんと障がい福祉課の公用車にて 〇〇 牧場を訪問。

始めに、〇〇 氏の自宅を訪問。〇〇 氏夫妻と話をする。

佐藤主査から、障がい福祉課が訪問した主旨として、次回 4/27 の判定について改めて説明に来たということ、また、将来的に施設やグループホームという話が出ていたことから、そういった情報提供や探すお手伝いなどのために今回、市の委託の相談支援事業所として e-ふらっとも同行したことについての説明がある。

説明のあと、e-ふらっとから 〇〇 氏にパンフレットをお渡しし、あいさつと共にセンターの紹介を行った。その後、〇〇 氏から話をうかがう。

4/27 については、〇〇 氏からは「都合つけます」との話がある。

以下、話の内容について

【生活状況など】

・農場の閉鎖について、牛を辞めたので 3 人共仕事をどうしようかと思っていたが、野菜を作っていて、畑の面積が増え、夫婦二人では大変なので、そこで出来るところをやってもらおうと思っている。そのため、3 人については、今すぐどこかに行かないといけないということにはなっていない。

野菜は、大根や白菜など。農機具（耕運機）は 1 人使えるが、2 人は使えない。

・（〇〇 氏には）息子がおり、牛がいた時は手伝っていたが、今は外に働きに出ている。

・〇〇 氏の家族は、妻と息子夫婦、孫が 1 人。食事は 〇〇 氏の自宅の食卓で、3 人を含めて朝・夕 8 人で食べている。昼は弁当を作ってそれぞれ 3 人に持たせ、今はそれぞれ部屋で食べている。

・入浴は、毎日入らないし、声をかけても入ろうとしない。ひげ剃りも自分でも出来るが、声をかけないと剃らない。今日は来客があるので剃るよう伝えたとこみんな剃った。（その後 3 人が来た時に、熊谷さんからは「3 人ともサッパリして」との話があり、この訪問のために髪も切ったよう）

【年金や経済的な部分】

・年金は、本人達の生活のために使っている。（本人達名義の通帳があるかどうかの質問に対して）まあそう。（どこの銀行の通帳かの質問に）詳しくは分からないが、妻が管理している。（預貯金は）ないと思う。

〇〇 さん、〇〇 さんは 1 級だと思うが、〇〇 さんはわからない。（←障がい福祉課情報が確かなら、これは削除して良いです）

・今は稼ぐところがない。

・（健康診断は）行っていない。毎月（〇〇 さんのみ）心臓疾患のために、かたおか循環器に通院している。5 年ほど前、食べないなど様がおかしかったので恵み野病院に連れて行ったところ、心臓の弁が弱っているとわれ手術を受けた。ペースメーカーは入っていない。薬は妻がセッティングして朝・夕の 2 回飲んでいる。

ここまで話したところで、3 人を呼んでいただく。

障がい福祉課・佐藤主査、熊谷さんは食卓スペースで 〇〇 夫妻と、〇〇、〇〇 相談員はそのまま居間で 3 人から話をうかがった。

まず始めに、それぞれ 3 人に名刺とパンフレットをお渡ししながら、あいさつと、センターの紹介（障がいのこと、仕事のこと、住まいのことなどいろいろなことを相談できる場所であることの説明）を行った。

また、3 人からそれぞれ名前と生年月日をうかがう。生年月日については、〇〇 さんと 〇〇 さんは答えられたが、〇〇 さんは「あんまり覚えていない」と全く答えられなかった。

3人の様子として、

■さん…きれいなセーターとジーンズ姿。ニコニコとしており、今回一番お話しをされていた。パンフレットを渡す前後手の震えがみられた。

■さん…トレーナーと汚れたダウンベスト、ジャージ姿。左目をつぶっており、ぶつけた後にも見えたため本人に聞くが、「ずっと前から」と原因は分からず。左目はほとんど見えていないとのことだが、名刺の文字が見えるか聞くと「大丈夫」とのこと。静かで穏やかな印象。言葉数は少ないが、問いかけにはぼつりぼつりと話して下さる。どこか悪いところはありませんかと聞くと心臓を指さしている。

■さん…シャツとスウェット姿。普段は3人の中でも一番よく話す方とのことだったが、今回は口数が少なく表情もやや硬かった。本人に緊張しているのか聞くと「緊張している」とのことだった。

■さんからの事前の話では、昼食の分として渡している弁当を朝食の直後に食べている。また、野草（どんぐりの実、ユリの根等）も拾って食べることがある。

以下、3人への質問と返答の内容。

○今、一番困っていることは何ですか？

■さん…仕事が困っている。どうするか。

■さん…仕事がないと暇になっちゃう。(今、日中は自分の部屋で) テレビを観ている。

■さん…(■さんも?) そう。

○どんな仕事がしたいですか？

■さん…力仕事、牛を長くやっているから。

■さん…道路工事とか。土日休みがいい。(今までは?) 毎日。休みはない。

■さん…今は、除雪。

○年制的にも体力的にも仕事はきつくなってきていないですか？

■さん…まだまだ大丈夫。

■さん…無理な仕事はさせない。疲れることはない。腰にきてる(※■さんが、「この人腰が悪いから」と)。

■さん…今のところは大丈夫。

○お給料はもらっていますか？

■さん…給料はもらってない。

○お小遣いはもらっているんですか？

■さん…何か欲しい時にもらう。

■さん…みんな違うから、個人でそれぞれ違うからおばあちゃんにもらう。みんな慰安会(育英会)に入っていて、その時(毎年旅行に行く)にもお小遣いをもらっている。

○買い物とかはどこに行っているんですか？

■さん…恵み野。ケーズデンキとか。自転車で。

■さん…行くところが3人とも違うから。近くだとセイコーマートとかセブンイレブンとか(※自転車でも1時間かかるとのこと)。歩いて行く。

■さん…(コンビニへ) 自転車に乗って相棒(=■さんのこと)と行く。足が悪くてあんまり歩けないから自転車。

■さん…あんまり出歩かない。

■さん…車があったら。

■さん…JRとかバスとかはあんまり乗らない。

○送迎があったら行きたいですか？

■さん・■さん…たまに思う。

■さん…タクシーは乗らない。お金かかるから。

○買い物に行くのに連れて行ってってくれるサービスとかがあります。そういった情報を今度持ってきたら見てみたいですか？

■さん・■さん…見たい。

○お部屋は寒くないですか？

■さん…火をたけばいいけど、夜は寒い。最初は■さんと一緒に住んでいた。

■さん…トイレの時は寒い。トイレは■さんに借りる。(部屋は)最初はここ(■氏の自宅)の2階にいたけど、そのあと個室に移った。じいちゃんが作ってくれた。(■氏の自宅より今の部屋の方が)良い。

○お風呂もトイレも一緒にあって、部屋もあたたかいような住むところがあるんですよ

■さん…本当に？どんなところ？共同は嫌。

■さん…温泉入った方がよい。(温泉はないけど、銭湯みたいなお風呂に入れるところはあると伝えると)家の中にあったらよい。

■さん…(そういうところがあったら？との問いに)1回見てみて入れるなら入りたい。

■さん…仕事探しも出来る？

※仕事を探したり、住むところを探したりというお手伝いは出来るし、買い物に連れて行ってってくれるサービスも含めて情報やそういったお話をするのに、またお話ししに来てもよいですかと確認し、3人から「良いです」との了解をいただいた。

3人とも携帯電話などは持ってなく、連絡の際は、■氏の自宅にかけて取り次いでもらう形となるようである。

健康について、どこか悪い所はないか確認したところ、■さんはないとのことであり、■さんからは、大腿骨を骨折した時(「牛がいた時に仕事で」とのこと)に入院したとの話が聞かれる。■さんに病院に行く時はどうしているのかを聞いたところ、「ばあちゃんに行く。送ってくれる」とのことであった。

前記話をうかがったあと、本人達の了解の元、それぞれの部屋を見せていただくこととなった。

■氏宅を後にする前に、■氏へ、今回初めての訪問だったため、本人達のことを知るため、また、今後の生活のことを一緒に考えさせていただくためにまた本人達とお話しに伺ってよいかの確認を行い、了解をいただいた。

始めに■さんの部屋を訪問。平屋で、おそらく物置を改良したような形をしている。扉を開けると正面にトイレがあり、3人の共用となっている。入ってすぐのスペースは物置になっており、段ボールなどが積み重ねられてあったり、今も使っているという業務用の冷凍庫が置かれている。また、牛用の物というパキカンもあり、「じいちゃんが昨日髪切ってくれた」と話している。洗濯に関しては「ばあちゃんがしている」とのこと。入口から右手奥側に本人の部屋がある。やや広めで、絨毯が敷かれており、入口すぐのところに棚、そのほか、テレビ、ポータブルストーブ、ベッドがある。衣類を干していたり、服や物が散らかっていたり

と雑然としており、物が散らかっていた。

■さんが住む平屋横に2階建てのプレハブがあり、次に2階にある■さんの部屋を訪問。

■さんと同じく絨毯が敷かれており、入口を入ってすぐのところにタンス、テレビ、ポータブルストーブ、奥にベッドがある。テレビが置かれているテーブルの上に、■氏が話していた昼食と思われる弁当が置かれていた。また、本人の趣味というラジコンが何台か並んでいたり、カメラも数台ベッドの上に置かれていたり、タンスにかけられている。更に壁には、■牧場での永年勤続の表彰状が額縁に入ってかけられている。■さんに比べ物は少ない印象だが、やはり雑然とはしている。また、カーテンなどはなく、窓も薄いため夜は寒そうな印象である。

最後にプレハブ1階の■さんの部屋を訪問。本人は既に室内にいたが、靴下も履かず（■氏宅で話を聞いていた時は、靴下は履いていたと思われるが）素足でいる。部屋は寒く、本人も夜は寒いからそういう時は布団に入るとのことであった。また、コンセントもついているため、お湯を沸かしているとも（カップラーメンの空容器も置いてある）。テレビやベッドは他の2人と一緒だが、タンスはなく壁側に3~4つほどの衣装ケースが積み上げられている。

印象的だったのは、絨毯ではなくゴザが敷かれており、窓際のところが土だらけだった（後で障がい福祉課から聞いた話によると、外にあるものを持ち込むから、と■夫妻が話していたとの情報があるが真相は不明）。本人に絨毯などは敷かないのか聞くと、滑るから敷かないとのことだった。また、一度おばあちゃんに頼んだことはあったけど買ってくれなかった（「ばあちゃんがきっと忘れたんだ」と）、との話も。

■さん、■さんの部屋は、蛍光灯2本直列に取り付けられるようになっているが、■さんは入り口側のみ、■さんは奥のベッド側のみそれぞれ1本だけで、もう1本は外されている状況だった。

以上を確認して今回の初回訪問を終えた。

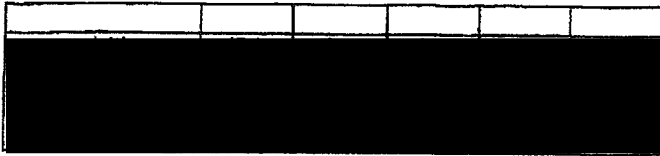
帰りに、障がい福祉課と今後の方向性を確認。障がい福祉課では月1回の訪問を継続予定とのことで、次回も同行させていただくこととし、本人達との約束もあるためe-ふらっとのみで訪問するかどうかについては、持ち帰って検討することとした。

☆今後について

- ・今回だけでは判断できないが、最低限、相談先の紹介と次に繋げる了解は取ることが出来た。
- ・関係性を考えると、訪問の際、しばらくは行く相談員は固定がよいと思われる。
- ・e-ふらっとのみで行く場合、行く頻度などを含め検討を要する。

☆訪問の印象として

- ・金銭、居住環境などいろいろと問題はあるものの、よくも悪くもこういった関わりが長期間に渡って続いてきたことにより、お互いにそれでよしとなっている関係性がある。
- ・そのため、急激な環境変化によって、本人達が混乱や困惑しないような情報提供、今の環境から移る準備などを考えていく必要はあると思われる。
- ・本人達は今の環境以外に知らないという状況なので、知らないことを知ってもらうこと、権利を伝えていく必要性はある。



初回相談受付票 (利用申込票)

令和 3 年 11 月 24 日 (水) 【相談時間 11 : 22 ~ : :】

対応・記録:

フリガナ 対象者	氏 (男・女・) 生年月日 S・H 年 月 日 (歳)
相談者	障がい福祉課 奥山 氏 (関係柄 : 関係機関
相談経路	関係機関・市の広報・知人の紹介・新聞・テレビ・ラジオ・その他(
相談受付	(1) 本人・(2) 家族・(3) 本人と家族・(4) 本人と関係者・(5) 関係者・(6) その他()
相談方法	① 訪問・② 来所・③ 同行・(④) 電話・⑤ メール・⑥ FAX・⑦ 個別会議 ⑧ 関係機関(訪問・来所・電話・その他)・⑨ その他()
病名・障害名	①精神 ②身体 ③知的 ④発達 ⑤高次脳 ⑥難病 診断名:
手帳有無	(1)精神 1級 2級 3級 (2)身体 1種 2種 級 (3)療育 A判定 B判定 ___判定
支援内容	①福祉サービス(情報提供、事業者の紹介、利用申請、契約、苦情、社会資源の活用、紹介等) ②障がい・病状(障がい受容・理解、本人・家族に対する支援等) ⑥ 家族関係・人間関係等の調整 ③健康・医療(医療機関の紹介、服薬管理、生活リズムの支援等) ⑦ 家計・経済支援 (年金、手当、生活保護制度) ④ 不安軽減・情緒安定(話し相手) ⑧ 生活技術(金銭管理) ⑨ 就労支援 ⑩ 権利擁護 ⑤ 保育・教育関連 (学校等の紹介、進路等) ⑪ 社会参加(コミュニケーション、外出移動、サークル活動、作品販売) ⑫ その他(情報交換、交流、その他) ⑬ サービス等利用計画(作成依頼・制度説明等)
令和3年11月24日(水) 11:22 障がい福祉課 奥山さんより電話 牧場勤務の方の住まい探しについて H27~H28頃に 関わってもらっていたかもしれない方で、 牧場に住み込みの、 さん、 さん、 さんについて障がい福祉課より照会があり、ケース記録確認も該当者なし。 ご主人が育英会会長をされていた さんが来庁。ご主人が亡くなり、妻と3人とで暮らしているが奥さんも対応 が難しくなってきたため、今後の住まいについて相談したいとのこと。 これから、訪問していかとのことだったが、相談員が1名での対応中であつたため、午後以降、出来れば、 14:30頃で願えないか伝えている。 12:00 障がい福祉課 奥山さんより電話 11/26 9:30~10:30 来所予定となる。 12/6	
今後の対応	<input type="checkbox"/> 相談終了 <input checked="" type="checkbox"/> 相談継続 (危機介入 緊急性 有 <input type="radio"/> 無) いつまでに返答 本日・明日・それ以降(
11/25 9:30~10:30来所予定。 次回対応者(日誌記載者) 11/25朝ミーティング迄に対応者を決める。	

令和3年度 [] 氏きろく

令和3年12月6日(月) AM [] さん、障がい福祉課小山主査 来所 対応・ [] 記録： []

5年程前から生活に大きな変化はないが、2年前に [] さんの旦那さんが亡くなったことや奥さんも高齢になってきたこともあり、今後のお三方の住む場所含め今後の生活を考えていきたいと話がある。スピード感としては急ぎではなく来春～夏くらいを想定。3人一斉に動く…ではなくタイミングを見ていきたいと話があった。現在は牛の飼育をしておらず、野菜作りをお三方に手伝ってもらいながら行っているが、今後は規模を縮小しようと考えているとのこと。

また、 [] さんは毎月定期受診をしており、年齢を考えると包括との連携を想定。

お三方は年金受給 ([] さん：1級、 [] さん、 [] さん：2級)。

【金銭管理】

お小遣いの中でのやりくりは可能だが、大きいお金の取扱いは不可。

今後の動きとしては、年内に一度自宅訪問。年明けから動いていくことについて共有し、面談終了。

令和3年12月27日(月) 10:00-11:10 [] 家訪問 対応・ [] 記録： []

[] 家訪問。それぞれの居室には行かず、 [] 家のリビングにてお三方と話をする。 [] 家の息子さんからも、お三方に会う前後に話をすることが出来た。

【聴き取り内容】※「」内は本人の言葉

○ [] さん

仕事…「(少し間があった後)あまり思いつかない」

[] さんとペアで動くことが多い様子。

お金の使い方…「お小遣いはお菓子やジュースを買ったりするくらい」

住まい…「グループホームの方が安心かも。(他者との生活は)嫌ではない」

嗜好品：飲酒、喫煙は無し。

令和4年3月2日 13:30-15:00 本人たちと面談 対応・記録： []

最初 [] 氏より概略を確認。その後本人と面談。

本人について：もなみ学園卒業後、17歳から24年近く長都のみよし牧場で働き、 [] 牧場に来た。

外出が好きで週1回くらいの頻度で出掛けている。

金銭面について：それぞれ50～60万くらい残っているとのこと。月々食費(3万ほど)と光熱費で5～6万程度支払ってもらっているとのことだったが、全てこちらからの問い(〇円くらいですか?)に「そんな感じです」と返答。場面によってははぐらかしている印象を受ける。

本人との個別面談

部屋ではSTVラジオが好きでよく聴いている。(本人曰く)1か月に1回外出し、自転車でサツドラ・うおはん・ビッグハウスなどに行くのが楽しみ。スーパーでは試食などを食べるのも好きとのこと。

これからの生活の希望は『一人暮らしがいい』理由は [] さんが一人暮らしを希望しているのを聞いたため。

令和3年度 ■■■■■ 氏きろく

ここ数年は作っていないが、食事作りもできると話がある。一方で今後の生活の金銭面を懸念しているようで「生活保護を使わないといけないのだろうか」という話も聞かれた。■■■からは料理の練習や金銭管理と一緒にしてくれる人がいると安心なのではと伝え、グループホームの情報提供をしたところ「そこもいいかもな」という返答もあった。

右足のくるぶしと左の大腿骨のケガがあるとのことだが、現状の生活では支障ないとのこと。

現在の生活リズムは、夜は18:30頃に就寝し、起床は3:00。起床後ラジオなどを聞いて過ごし、5:30に朝食。9:00までゆっくりした後、仕事に取り掛かるとのこと。(冬場は除雪、夏場は畑作業) 12:00、16:30の食事は弁当をもらい自室で摂るとのこと。夕方仕事が終わった後はテレビを見たりラジオを聞いて過ごしている。

今後、生活の場所が変わっても仕事は続けたいと話しているが、仕事をして生活費を稼がないと生活できないという気持ちが強い様子。仕事は農家か牧場の作業がしたいと話がある。

また、現時点での心配事を伺うと『家(■■■牧場)の除雪』とのこと。

令和4年度 [redacted] きろく

令和4年5月18日(水) 17:00-17:05 グループホーム見学調整 対応・記録: [redacted]

[redacted] 牧場、グループホームあうる恵み野東、笑家恵み野へそれぞれ送電。5月23日13時から見学となる。

令和4年5月23日(月) 13:30-15:30 グループホーム見学 対応・記録: [redacted]

グループホーム見学同行。移動中、恵み野方面に差し掛かった際この辺りまで自転車で買い物に行ったことがある等の話が本人から聞かれた。見学時にグループホームの入居費用などの話を聞いたからか、帰りの車内では、お金を稼がないといけないという話や社員寮のように住まいと就労先が一緒になっているところがいいかもしれないなどの話が聞かれた。

令和4年6月6日(月) 牧場の近くで [redacted] 氏より呼び止められる 対応・記録: [redacted]

[redacted] さんのグループホーム見学送迎から、戻る途中、みるくのアトリエをすぎたあたりで手を振っている男性あり。止まるよう合図しており車を停車すると。市役所の人かと何度も確認する。違うと言うと、[redacted] 牧場の3人を早く出してあげてほしい。ずっと悲惨な状況におかれている。まわりの住民は皆知っている。自分は裏の山?の [redacted] と言うもの。3人に助けてくれと相談をうけてきた。働いても一切お金はもらえていないし、食事は人間の食べるようなものを与えられていない。みかねて弁当を差し入れたこともあったが、主人(生前)にばれて、出入り禁止になった。市役所で数年前に入ったので、出してくれるかと思っただが、すすまなかった。ずっと気になり、関わっている。関わるために金屑を片付ける等理由をつけて出入りしている。3人の担当は別なのか、[redacted] さんという人と見学に行き15日から体験に行く事も知っていた。

令和4年6月7日(火) 17:25-17:27 グループホーム見学調整 対応・記録: [redacted]

[redacted] 牧場へ送電し、6月16日に [redacted] の見学に行くこと、グループホームのサービス申請のため市役所に行く旨伝える。昼食代と申請のための印鑑を持たせてもらうようお願いした。

令和4年6月9日(木) 11:30~ [redacted] 氏来所 対応・記録: [redacted]

[redacted] 氏(名刺記載 [redacted])

あらためて、[redacted] 牧場での処遇状況について情報提供される。

[redacted] 氏は [redacted] 牧場の裏の土地を所有し、10年ほど前に、[redacted] 牧場近くでどぼとして作業をしていた時に [redacted] さんと会い話をするようになった。その中で下記の話があり、助けを求められたことがある。

令和4年度 [redacted] きろく

- ・働いても給料はもらえていない。
- ・[redacted] 宅では入浴していない。
- ・食事は、朝はごはんとお湯 昼、夜はカップ麺やパン1個 など。朝と昼、夜が同じ内容のこともある。息子がレトルト食品の会社に勤めているので、ごはんの上にレトルトシチューをかけていることもある。
- ・服はまともに与えられていない。
- ・灯油が高いと2月にストーブを外されたことがあった。

みかねてこっそり弁当を差し入れしていたが、[redacted] 氏にみづかり余計なことをするなど出入り禁止となってしまうが、心配でつながりは継続してきた。最近も様子をみるために鉄くず処分を持ち掛け出入りしている。どぼの草刈り要員として [redacted] さんに来てもらったこともある。その時に昼食を提供したら、すごい食欲だった。この間どこかへ訴えたらいいのかとも考えたが、その結果、3人に行き場がなくなってしまうたらと躊躇してきたが、3人が [redacted] 牧場を出ることになったと聞き、いち早く出してあげてほしいと話される。

お金の心配をされていたが、おそらく障害年金があるので、転居費用を含め心配ないはず、若しくは生活費に不足が生じる場合は、手立てはとると話す。出る時も荷物処分費用を請求されるのではと心配されていた。

令和4年6月16日(木) 9:00-15:40 [redacted] 見学、サービス申請 対応・記録: [redacted]

[redacted] さんと共に [redacted] を見学。海の見える2階の居室が本人は気に入ったとのこと、今月中に一度体験することとなった。見学中、かぶっていた帽子を外した時に頭のところどころに傷やかさぶたが見られ、そのことについて触れると「よくぶつけるんだわ」と話がある。

車内移動中、飛行機を見かけた際に自分の家は金持ちで内地に親の墓参りへ行くときは自家用の飛行船が迎えに来るといった、通常では考えにくい話が聞かれた。

見学後、恵庭市役所でサービス申請。6月27日午前に関況調査をすることとなる。計画はセルフプランでよいとのこと。

また、グループホームの体験に向けて気になることなどあるか伺うと「他の入居者と仲良くできるだろうか」という不安があること、右耳の聞こえが悪く以前耳鼻科で診てもらおうと言われた(誰かは不明)が受診できていないと話があった。言われたのも最近ではなく、ずっと放置になっている様子。

※区分申請のため島松病院受診相談 ([redacted] 相談員対応)。7/5 9:00、10:00 7/7 10:00で予約が取れる。意見書作成のための受診は1回で可。本人の概要資料と療育手帳の判定資料を事前に提供いただきたいとのこと。

令和4年6月24日(金) 10:00-10:15 [redacted] 体験調整 対応・記録: [redacted]

[redacted]、[redacted] 牧場へ送電。6月28~30日に体験となる。費用やスケジュールの確認。

令和4年6月27日(月) 9:30-11:00 概況調査、セルフプラン作成 対応・記録: [redacted]

令和4年度 [redacted] きろく

[redacted] 牧場へ迎えに行き、e-ふらっとにて障がい福祉課奥山さんの聞き取り調査に同席。聞かれた質問にははきはきと答えているが、正確に答えられているかは不明（記録では平成13年から [redacted] 牧場に勤めているとなっているが、本人は平成6年から勤めていると返答）。JRやバスは千歳の牧場にいた時は使っていたが、今はめったに使わない。自分で買い物は基本食料品（ [redacted] 氏にお小遣いをもらって買いに行っている）。衣類は牛舎で洗濯している。漢字はフリガナが振ってあると読むことが出来る。温度差により右肩が時折痛むことがある。といった話がある。

7月にグループホームとB型を利用していくことを確認。区分は8月中旬に出ることとなる。

聞き取り後、セルフプラン作成。グループホームに入居したら仕事をしないと生活できないので、仕事がしたい。グループホームでどれくらいお金がかかるか、他の入居者と仲良くできるか心配と話がある。

※面談時、胸の部分が出血しており衣類に血が付いている状況を発見。傷を見ると大きい吹き出物がつぶれているような感じがあったが、どうしたのか尋ねると良く分からないがぶつけたと話がある（面談後、 [redacted] 牧場へ本人を送り届けた際、 [redacted] 氏に胸の出血について報告し傷の手当などをお願いした）。

令和4年6月28日（火） 9:00~11:00 [redacted] 体験送り 対応・記録: [redacted]

[redacted] 牧場へ迎えに行き GH に送る。半袖Tシャツだったので、上着と傘の持参をすすめ、取りに戻る。下着、タオル等は [redacted] 氏が新しいものを準備してくれたとのこと。 [redacted] 氏より宿泊費用を預かりスタッフにそのまま預ける。その他小遣いは本人3000円ほど持っているとのこと。車の中で、母親が病気になるもなみ学園に入所し、まもなく母親がなくなったこと、もなみ学園から長都の牧場に住み込みになったことを伺う。常識的な洗顔、入浴その他の生活習慣ができていかわからないので、留意し声がけいただくよう依頼。また胸に傷あり、薬を塗って絆創膏をはっていることを伝える。滞在中の天候によるが、きのこ作業のA型の他、通所候補先の見学を予定いただいている。

令和4年6月30日（木） 13:00-15:45 [redacted] 体験迎え 対応・記録: [redacted]

[redacted] の体験終了後の送迎。本人からは [redacted] に入居したい意向が聞かれた。体験中、キノコ作業があるA型事業所とゴミ袋と農作業がある事業所（本人事業所名はわからず、資料もないとのことだったが、B型の [redacted] だと思われる）を見学に行き、 [redacted] が良かったと話があった。GHでは温かいご飯がおいしかったことやGHの職員と楽しくおやつを食べたこと、GHの周囲を案内してもらい、買い物に行ったことなどを帰りの車内で楽しそうに話してくれる。GHからは後ほどFAXにて本人の様子などを記載して送りますと話があった。早朝GHの庭の雑草抜きをするために外出した際、職員が寝ているからと気を使って声をかけなかったと話がある。今回の体験ではほかの入居者がいなかったが、今後は [redacted] とB型事業所の利用に向けて進めていくことを [redacted] さんとも改めて確認。

令和4年7月1日（金） PM セルフプラン提出 [redacted] より経過記録送付 記録: [redacted]

令和4年度 [redacted] きろく

[redacted]障がい福祉課へセルフプラン提出。[redacted]より体験時の経過記録が送付される。

令和4年7月4日(月) 9:10-9:15 [redacted]牧場より来電 入居について 対応・記録: [redacted]

[redacted]さん(故雇用主の妻)より来電。畑作業の人手が不足しており、本人の入居を秋まで遅らせてもらえないかとのこと。また、[redacted]さんも畑の手伝いができると言っていて、e-ふらっとにも相談していたのに来てくれなかったことなど笑いながらではあったが、「何のためのふらっとなんだか」とe-ふらっとへの不満のような話も聞かれた。[redacted]からは本人が見学に行ったグループホームはできたばかりで他の見学者も来ており秋まで待っていては入居できなくなる可能性もあること、畑の手伝いのことについては内部でも情報共有し検討したいと思うと伝え終電。

令和4年7月5日(火) 8:30-12:00 島松病院受診同行 対応・記録: [redacted]

[redacted]牧場に迎えに行き島松病院受診(同日受診の[redacted]さんも一緒)。[redacted]氏に手伝いをお願いされたのか「9月いっぱいまでいてほしいと言われた」と話がある。[redacted]は新しいグループホームで営業もいろいろなところにかけているため、入居を伸ばすと希望している部屋に入れなくなる可能性があることを伝えている。ワーカーや医師からの質問には緊張しながらも返答していた。

令和4年7月6日(水) 15:00-15:17 [redacted]さんより来電 対応・記録: [redacted]

今日、グループホームを見学した方が(本人が気になっている)2階の居室が良いと話していた。入居が伸びてしまうと埋まってしまう可能性が高いとのこと。また、B型利用については場所に寄るが途中まで送迎可能と話がある。

令和4年7月14日(木) 15:00~15:10 転居に向けての意向確認 対応・記録: [redacted]

[redacted]牧場で一緒に働いていた2人の転居が来まったことを伝え本人の意向を確認すると8月末までで、グループホームに移りたいと話あり。本人なりに今後の農作業を想定し8月末までいけば何とかかなと思っているよう。では希望にそって準備していくと伝える。

令和4年7月22日(金) [redacted]さん 対応・記録: [redacted]

グループホーム入居予定について問い合わせあり。牧場の方で、畑仕事が忙しいのもうしばらく残ってほしいと言われているが、本人は8月末で出たいと話しているので、受け入れを待っていただけるかと相談。

令和4年度 [redacted] きろく

可能だが、それでは先に入居する方がいるので部屋が変わる可能性ありとのこと。

本人仕事のことを気にしていたので、入居前に再度 GH を体験し、その期間に通所先の体験をしてはと話あり検討すると終電。

令和4年7月27日(水) 16:00~ [redacted] 牧場訪問 対応・記録: [redacted]

[redacted] 家にて通帳を確認させていただき予定であったが [redacted] 家の息子(以下、息子)不在。途中で息子が帰宅してきたためグループホーム入居に関しての話をする。[redacted] 家の息子からは、「話が違う」「(母親が) 急ぎ過ぎた」と自身の母親を責め立てるような言葉と共に、「畑の仕事が忙しいので今いなくなったら困る」等の話をされる。また、確かに本人が畑の仕事を気にしている言葉は聞かれているものの、畑の仕事をしたら給料は支払われるのかどうか、これまで給料はどのようになっていたのか指摘すると「生活費と相殺になっている」との返答。

このため、働いても給料が支払われず、グループホームに移る話は母親だけでなく息子も了承していた話であること、それを受けて既に動き出しており先延ばしにした場合は空気がなくなってしまうこと等を説明。息子はなかなか話を聞き入れる様子はなかったが、本人が希望している8月末での転居ですめることを伝えると、半ばあきらめるように、自身の母親が全て悪いかのように責め立てながらその場を去られる。

令和4年8月1~2日 [redacted] (B型) 体験調整 対応・記録 [redacted]

[redacted] さん、 [redacted] さん(女性)、 [redacted] さんとやり取り。

日時: 8月8日(午後)~10日(朝食を摂り、 [redacted] 体験まで)

[redacted] は8月10日に1日体験

費用: 3000円(1泊分の体験費用が無料になるため)

内訳…朝食昼食1食400円 夕食1食500円 家賃日割り1000円 共益費200円

スケジュール:

8月8日 13時頃 [redacted] 牧場出発

14時頃 [redacted] 到着

8月9日 [redacted] で過ごす

8月10日 [redacted] で朝食

体験時の荷物を全部持って [redacted] へ

8時20分頃 [redacted] 駅付近のサツドラ ([redacted] 店の隣) で送迎車待ち

[redacted] の体験実施(事業所の昼食を摂る 1食300円実費支払い)

15時10分頃 [redacted] が [redacted] へ本人を迎えに行く

16時頃 [redacted] 牧場到着

持ち物: お泊り道具、体験費用3000円(お釣りあるかも…)

[redacted] …上靴、汚れても大丈夫な服装、飲み物、昼食代300円

令和4年度 [] きろく

8月2日16時時点で [] さんとのやり取りは完結。

[] には大まかなスケジュールはお伝えしているが、B型体験の動きなど具体的な動きはまだ伝えられていない。→8月5日伝達完了。

令和4年8月8日(月)13:00-15:00 [] 体験 対応・記録 []

[] 体験の送迎。転居準備のため通帳を預かりたいと伝えたとこ、本人の通帳は息子が持っているの
で今は渡せない(息子不在)話がある。10日に戻った際にあずかることは可能かと伺うと、息子に伝えて
おくとのこと。また、車内で本人から足を骨折した際に入れたボルトの1つが骨に触り、立ち上がる時など
に痛むことがあるとのこと。[] 到着時に改めてGH職員とも情報共有。転居前に一度(手術した)恵庭病
院への受診をしたほうが良いことを確認している。

令和4年8月10日(水)GH体験利用延期調整 ①~⑥

①8:45-8:50 [] 牧場(息子)から来電 対応・記録: []

[] 牧場の息子([] 氏)より来電。[] 氏の奥さんがコロナ罹患(昨日陽性確定)となり、母
親も体調不良の訴えがある。そのため本人のGH体験を来週月曜まで延ばしてもらえないかとのこと。GHに
確認することとした。折り返し連絡いただくために連絡先確認([])。

②10:30-10:35 [] さん・[] さんへ送電 対応・記録: []

上記報告。[] さんからは体験延長は可能。費用も後払いで大丈夫だが、もし可能であればこのまま本入
居の動きを取ってもいいのでは話がある。e-ふらっととしてもその方向性で行けたらと思っているが、[]
[] 牧場(主に [] 氏)の反応も懸念されるため、一度 [] 牧場にも確認してみることにした。
今日はB型の [] の体験に行っているが、15時終了後はGHの職員が送迎するとのこと。
その旨 [] さんにもお伝え。

③10:40-10:45 障がい福祉課へ送電 対応・記録: []

受給者証発行前倒し打診。奥山さんが別件対応中であったため、伝言してもらうこととした。

④10:50-10:55 [] 氏へ送電 対応・記録: []

GH体験延長は可能であるが、体験費用より本入居に切り替えたほうが費用は安くなると伝え、契約の手続
きを進めてもいいか確認したところ「話が違う。9月からの入居でしたよね」と畑仕事を手伝ってもらう予定
も立てており、今転居されると困ると話がある。それならば今日牧場に戻してほしいという言葉も出てきた
ため、9月頭からの入居に向けてとは考えているが、体験延長しているうちから契約などの手続きを行えら
らと思っていることを伝え、それは良いとのこと。転居に向けて通帳や手帳などを預かりたいと伝える
と今日は母親の病院受診があるため渡せない。金曜日の受け取りを打診すると「おばあちゃん(母親)と確
認して折り返します」とのこと一度終電。

令和4年度 [redacted] きろく

⑤13:05-13:10 [redacted] さんへ送電 対応・記録: [redacted]

転居後の計画引継ぎ打診。可能と返答いただく。後日詳細な情報共有をさせて頂きたいと終電。

(名前、生年月日、障害種別、9月頭予定で [redacted] に入居予定、現在セルフプランでGHとB型申請中であることはお伝え)

⑥13:17-13:28 [redacted] さんへ送電 対応・記録: [redacted]

[redacted] 氏とのやり取りについて共有。一度 [redacted] 牧場に戻らないといけなくなるかもしれないが、[redacted] 家のコロナ罹患状況に応じて変化する可能性あり。

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

令和4年度

きろく

令和4年7月17日(水) 11:20-12:00 生活保護申請について確認 対応・記録:

- ① さんより来電。生活保護の申請のため に行ったが、受給者証発給が恵庭市のため生活保護も恵庭市での申請になると言われたとのこと。申請先についてはこちらでも確認することとした。また、先日話していたベッド購入について再度確認があり、購入しても大丈夫と返答。
- ② 恵庭市役所福祉課三森さんへ送電。生活保護申請先の確認。三森さんの把握だと他市に転居した場合は他市での申請になると思うと話がある。
- ③ にも送電。場合によっては特例があるかもしれない為、確認して折り返し連絡いただくこととなる。

令和4年7月18日(木) 9:30-9:40 さんより来電 対応・記録:

居住地が恵庭であるため、恵庭市になると返答がある。

令和4年7月18日(木) 16:30-17:00 グループホーム本利用申請 対応・記録:

本人から 牧場に戻らないと話があったと さんから伺い、グループホーム本利用の申請を行い、セルフプランを提出。区分2が付く。